



今月の公開授業

現代社会 公開授業 「ゲーム条例を考える」

1年生探究進学科 社会科 教諭 相道 孝志

10月5日(月)に1-1の「現代社会」で討論形式の授業を実施しました。テーマは「ゲーム条例を考える」としました。香川県が青少年のゲーム依存やスマホ依存の対策として、家庭でのゲームやスマホ利用の時間を制限する条例を制定しました。条例に時間制限の目安を明記していますが、罰則規定はありません。この条例に対して香川県のある高校生が条例は基本的人権の侵害に当たるとして損害賠償を求めて提訴しました。授業では、この香川県のゲーム条例の賛否について班別に討論を行いました。賛成意見としては「罰則はないので人権を侵害していない」、「条例があると親が子どもに注意しやすい」などの意見があり、反対意見としては「家庭でルールを決めるべき」「条例に科学的根拠がない」などの意見がありました。討論のポイントは条例が私生活にどこまで関わることを認めるかということでした。法令と人権との関係について生徒たちが考えるきっかけになったと思います。



「なぜ生物多様性が必要なのか」

1年生探究進学科 理科 生物 教諭 油谷 誠

「何故生物多様性が必要なのか」という問いを基に授業を展開しました。「バランス」というキーワードを一貫して掲げ、生物の多様性は安定化に繋がるということについて、様々な生物が複雑に関係し合う実例を交えて深く思考する時間にしました。



「生物多様性についての理解を深める」

1年生探究進学科 理科 生物 教諭 明石 英章

生物多様性を維持するためにはどうすればよいのかを考えることを目当てに授業を行いました。自然にまかせるだけでは不十分であり、ある程度の負荷を生態系に与えるような働きかけを行うことも実は必要であるということを、生徒は事例を通して考え、自ら気づくことができました。



川内教頭先生 BLENDEDLEARNING講習会

今年度中に一人1台のタブレット端末が導入されることから、その活用方法の一つとして「Blended Learning」についての研修を行いました。Blended Learningは「①従来行われている教師主導の授業(グループ活動などのActive Learningを含む)」と、「②生徒主体で個別最適化されたe-Learning(学習動画を用いたオンライン学習)」を、それぞれの良さを活かしながら「Blend」したものです。

研修では「Blended Learningを実践する上での視点」「Blended Learningのモデル」「展開例」について、動画なども視聴しました。

e-Learningは「できる教科とできない教科がある」「自分の教科には合わない」という意見や、「大学入試や進度のことを考えると、これまでのやり方が一番いい」「動画視聴では十分な効果が期待できない」といった意見もあるでしょう。でも、そこから一歩踏み出して、少しずつ「Blended Learning」を取り入れながら「個別に最適化された学習」を進めていけるといいですね。

「人間生活探究/美術Iにおける教科横断型授業」

1年生探究進学科 芸術科美術 教諭 伊藤 裕貴

現代版「枕草子」の背景を描こうというテーマで授業を実施しました。書道選択者が現代版「枕草子」を創作し、その作品を美術選択者が読み、その背景をイメージして和紙に着色を



しました。抽象絵画を描くという活動内容で、文章から多様なイメージを膨らませて背景を構想することができていました。

第4回PT会議より

10/12(月)13:15~被服室にて、第4回の授業改善PT会議を行いました。川内教頭先生による「Blended Learning」講習会のあと、辻崎先生(国語)から「1年生探究進学科・合同LH」、伊藤先生(美術)から「1年生探究進学科・人間生活探究(美術)・教科横断型授業」の授業実践報告がありました。

辻崎先生の授業実践報告からお聞きしたことに関連して、教員のファシリテーターとしての役割について再考しました。生徒が想定外の学びや気づきへ深められる場をつくるのがその役割だと再確認するとともに、そのためには「教え、伝える」絶対的な教員の力量も必要になるのではないかと感じました。

10月PT 通信担当 蔦 将愛